## 建築学科(建築総合コース) カリキュラムフロー

		<b>= 7-                                   </b>	26	<b>F次</b>	3台	F次	4年	יאלי	1 [	学修目標    D
Ci	1-	リベラルアーツ(人文)	人文科学特論		37	F/A	1-1	-//		7194135
		2 3777 2 (3727)	リベラルアーツ(社会)	社会科学特論	日本国憲法					
				リベラルアーツ(自然)	自然科学特論				→ 1	L_1 教養的知識
			健康科学概論	(健康科学概論)						
	イングリッシュコミュニケーションI	イングリッシュコミュニケーションII	イングリッシュコミュニケーションIII	イングリッシュコミュニケーションIV						
	基礎日本語I	基礎日本語II	基礎日本語III	基礎日本語IV						
		英語留学研修	(英語留学研修)						→ 1	L_2 コミュニケーション能力 <sub>基</sub>
			TOEIC演習	(TOEIC演習)		- 1 - ' > L++=T				石
建築学を学修する上で、また社会に出て活躍す	48 40 40 40 TH	AR TO NO TO UNIO	実践英語	実践英語		アカデミック英語				f
る上で求められる、人文科学・社会科学・自然	情報処理基礎	情報処理特論	データサイエンス特論	確率・統計					→ 1	L_3 リテラシー 湯
科学の教養的知識並びに汎用的技能を身につけることができるよう、「初年次教育」「アント	初年次セミナー	7 7911277711	) ) )   TZ/N19am	PE-P- NVGD I						
レプレナーシップ・キャリア教育」「リベラル	197-1/10			科学方法論入門					→ 1	L_4 論理力   ·
アーツ・データサイエンス教育」「数理基礎教		·		11379724007113						*
育」「英語・日本語教育」の五つの分野で科目	基礎演習I								→ 1	1_5 アカデミックスキル
を体系的に開講する。	アントレプレナーシップ入門		イノベーション論I	イノベーション論II	ビジネス概論					
		基礎演習II				リベラルアーツ演習				1.6 土来を切りなくも
			企業プロジェクトA	企業プロジェクトB	学生プロジェクトA	学生プロジェクトB			→ 1	1_6 未来を切り拓くカ
					インターンシップA	インターンシップB				
	工学・情報系の基礎数理Ⅰ	工学・情報系の基礎数理II	T # ### 5 0 ### 1	<b>工兴 桂和邓本教理27</b>		就職セミナー				
	上字・情報糸の基礎数埋1	<b>上子・情報糸の基礎数埋II</b>	工学・情報系の数理I	工学・情報系の数理II 微分方程式						
	基礎物理学	物理学		物理学実験					→ 1	L_7 数理基礎力
	基礎化学I	基礎化学II		10-11 700						
CP	14	<b></b> 下次	2/=	 F次	2.4	F次	4年	ד√י דיער		学修目標D
Cr	建築製図I	建築製図II	建築製図III	<u>+//</u>	34	F/A	44	-//		于19日保 し
	建築設計I	建築設計II	建築設計III	建築設計IV	地域計画設計	建築意匠設計				
	A2750A11=	地域・都市計画	建築計画I	建築計画II	· O-WITHIAM	XLX/ISIEESXS1			→ 2	2_1 建築設計・計画の知識・理解
	デザイン実習I	デザイン実習II			デザイン実習III					
			建築史I	建築史II					<b>→</b> 5	2_2 建築史・意匠の知識・理解
			建杂义1	<b>建来</b> 类II						_
建築学の専門知識に基づく思考力、実践力を体 系的に修得できるよう、計画から設計までのプ			建築環境工学I	建築環境工学II						2 建筑環境・設備の知識・理解
ロセスを理解した上で、各専門分野の立場から					建築設備I	建築設備II			→ 2	2_3 建築環境・設備の知識・理解 '
企画、計画及び検証、設計を行い、それをプレ					W	建築設備設計			$\sqcup$	
ゼンテーションする横断的デザイン教育に必要	静定構造力学	材料力学 建築構造学	不静定構造力学	鉄筋コンクリート構造I	耐震工学 鉄筋コンクリート構造II					ā
な科目を、年次とともに徐々に専門性を高める		建采佛坦子		郵構造I	鋼構造II				→ 2	2_4 建築構造の知識・理解
形で開講する。また、一級建築士を取得するた				A7 177	建築構造実験	建築構造設計				±
めに必要な科目を開講する。			コンクリート工学	建築材料						
					建築施工	建築施工管理	建築測量		→ 2	2_5 建築生産の知識・理解
			建築CAD実習I	建築CAD実習II	情報処理論				_  -	2 6 情報処理の基礎的知識・理解
									Ľ	v Idt以企业少益地以和城:任所
	建築入門		建築実習I	建築実習II	建築法規	建築防災			→ 2	2_7 建築全般にかかわる知識・理解
						建築積算				
СР	14	<b>手</b> 次	2年次		3年次		4年次			学修目標    D
社会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・	健康スポーツ教育Ⅰ	健康スポーツ教育II	健康スポーツ実習	(健康スポーツ実習)					→ :	3_1 自己管理力
社会性を身につけることができるよう、倫理観や	成成八八 ノが日1	KENKAN JAHII	(世界/八八 ノ大目	(成成八八 ノ大目)						
自己管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、		ビジネスプランニング入門							→ 3	3_2 協働性
それらを実践的に修得する機会として、アクティブ ラーニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通										
フーニングを模極的に取り入れた多様な科目を共進 教育課程・専門教育課程の双方で開講する。					科学技術者倫理				→ 3	3_3 倫理観 ***
СР	14	<b></b>	2年	F次	3年	F次	4年	次		学修目標 D
も通教育課程・専門教育課程の履修を通じて体得した教養的・専門的知識、汎目的技能並びに人間性・社会性を基盤に、建築・都市にかかわる課題の発見・						建築ゼミ	卒業	研究	→ 4	4_1 課題発見・解決力 ************************************
HPがX地址UCに入向は・社会はを基準に、延率・各市にかかりる課題の光光・ 解決に実践的に取り組む機会として、卒業研究を開講する。						足未じく	十来	~	1 [	PARE / D / D / D / D

## 建築学科(建築計画コース) カリキュラムフロー

		年次	2年	<b>F</b> 次	3年	次	4年次		学修目標	
		リベラルアーツ(人文)	人文科学特論							
			リベラルアーツ(社会)	社会科学特論	日本国憲法			-	→ <b>1_1 教養的知識</b>	
			//ara=11244101=0	リベラルアーツ(自然)	自然科学特論					
	1	11	健康科学概論	(健康科学概論)						
	イングリッシュコミュニケーションI									
	基礎日本語I	<b>基礎日本語II</b> 英語留学研修	基礎日本語III (英語留学研修)	基礎日本語IV					」 1 2 コミュニケーション能力	
		犬山田士训修	TOEIC演習	(TOEIC演習)					<b>→  1_2 コミュニケーション能力</b> 	
窓帯も帯放すえ L ホーナも社会に山て洋曜す			実践英語	実践英語		アカデミック英語				
築学を学修する上で、また社会に出て活躍す 上で求められる、人文科学・社会科学・自然	情報処理基礎	情報処理特論								-
学の教養的知識並びに汎用的技能を身につけ	INTERCED IN	データサイエンス入門	データサイエンス特論	確率・統計				-	→ 1_3 リテラシー	
ことができるよう、「初年次教育」「アント	初年次セミナー	<u> </u>								
プレナーシップ・キャリア教育」「リベラル				科学方法論入門				-	→ 1_4 論理力	
-ツ・データサイエンス教育」「数理基礎教		-								-
「英語・日本語教育」の五つの分野で科目	基礎演習I	]						-	<b>→ 1_5 アカデミックスキル</b>	
本系的に開講する。	アントレプレナーシップ入門		イノベーション論I	イノベーション論II	ビジネス概論					
		基礎演習II			<u> </u>	リベラルアーツ演習				ļ
			企業プロジェクトA	企業プロジェクトB	学生プロジェクトA	学生プロジェクトB		-	<b>→ 1_6 未来を切り拓く力</b>	ļ
					インターンシップA	インターンシップB				
						就職セミナー				
	工学・情報系の基礎数理I	工学・情報系の基礎数理II	工学・情報系の数理I	工学・情報系の数理II						
		1 F		微分方程式				-	→ <b>1_7 数理基礎力</b>	
	基礎物理学	物理学		物理学実験						
	基礎化学I	基礎化学II								
СР	14	年次	2年	F次	3年	次	4年次		学修目標	
	建築製図I	建築製図II	建築製図III							
	建築設計I	建築設計II	建築設計III	建築設計IV	地域計画設計	建築意匠設計		-	· 2_1 建築設計・計画の知識・理解	₽
		地域・都市計画	建築計画I	建築計画II						
	デザイン実習I	デザイン実習II			デザイン実習III					
			建築史I	建築史II				-	→ 2_2 建築史・意匠の知識・理解	
築学の専門知識に基づく思考力、実践力を体										
的に修得できるよう、計画から設計までのプ			建築環境工学I	建築環境工学II						
セスを理解した上で、各専門分野の立場から					建築設備I	建築設備II			→ 2_3 建築環境・設備の知識・理解	ŕ
画、計画及び検証、設計を行い、それをプレ	#A	114411			71 <del>7</del> - W	建築設備設計				
シテーションする横断的デザイン教育に必要	静定構造力学	材料力学 建築構造学	不静定構造力学	afterコンカロ L ##*生t	耐震工学					
科目を、年次とともに徐々に専門性を高める		建柴伸逗子		鉄筋コンクリート構造I 鋼構造I	鉄筋コンクリート構造II 鋼構造II			-	・ 2_4 建築構造の知識・理解	
で開講する。また、一級建築士を取得するた				<b>網構足I</b>	建築構造実験	建築構造設計				
に必要な科目を開講する。			コンクリート工学	建築材料	是未得是人员	是来得起取引				
			2277 127	是来仍行	建築施工	建築施工管理	建築測量	-	→ 2_5 建築生産の知識・理解	
						707117011111111111111111111111111111111	727117022			
			建築CAD実習I	建築CAD実習II	情報処理論			-	→ 2_6 情報処理の基礎的知識・理解	ŧ
	建築入門	1	建築実習I	建築実習II	建築法規	建築防災				
	7.2.11		12117111	12.11.71.2.2.2	i Continue	建築積算		-	→ 2_7 建築全般にかかわる知識・理解	解
CP	1/	 年次	2/2	=\h_	3年	\h_	ムケンカ		学修目標	
CP	1,	<del>牛</del> 从	24	F次	34	-//\	4年次		子修日倧	
会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・	健康スポーツ教育I	健康スポーツ教育II	健康スポーツ実習	(健康スポーツ実習)				-	→ 3_1 自己管理力	
会性を身につけることができるよう、倫理観や										
日管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、 れらを実践的に修得する機会として、アクティブ		ビジネスプランニング入門						-	→ 3_2 協働性	
ーニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通										
育課程・専門教育課程の双方で開講する。					科学技術者倫理			-	→ 3_3 倫理観	
CD.		<b>左</b> 次	2.5	ニハコ	2.5	-Va	4 F \ F	1	学んロ挿	
CP	13	年次	24	F次	34	次	4年次		学修目標	
教育課程・専門教育課程の履修を通じて体得した教養的・専門的知識、汎 技能並びに人間性・社会性を基盤に、建築・都市にかかわる課題の発見・						建築ゼミ	卒業研究	·  -	→ <b>4_1 課題発見・解決力</b>	
技能业のに人間性・任芸性を基盤に、延業・都市にかかわる課題の発見・ に実践的に取り組む機会として、卒業研究を開講する。										

## 建築学科(建築構造コース) カリキュラムフロー

СР	1:	年次	2年	次	3年	次	4年	次	学修目標
		リベラルアーツ(人文)	人文科学特論						
	1	!	リベラルアーツ(社会)	社会科学特論	日本国憲法				→ <b>1_1 教養的知識</b>
	1	!	/act1/24m=A	リベラルアーツ(自然)	自然科学特論				
		1	健康科学概論	(健康科学概論)					
	イングリッシュコミュニケーションI		イングリッシュコミュニケーションIII	イングリッシュコミュニケーションIV					
	基礎日本語I	基礎日本語II 英語留学研修	(英語留学研修)	基礎日本語IV					1 2 コミューケーション総中
	1	央岩笛子研修	TOEIC演習	(TOEIC演習)					→  1_2 コミュニケーション能力 
WW. W. W. T.	1	!	実践英語	実践英語		アカデミック英語			
食学を学修する上で、また社会に出て活躍す トマポックなスートで利労 社会利労 中継	情報処理基礎	情報処理特論	X 1,6 X 111	XIXXIII		7737 C 7 7 X KI			
で求められる、人文科学・社会科学・自然 の教養的知識並びに汎用的技能を身につけ	阿林及子金城	データサイエンス入門	データサイエンス特論	確率・統計					→ 1_3 リテラシー
ことができるよう、「初年次教育」「アント	初年次セミナー		7 7 7 1 - 7 1 1 3 3 1 3	1,7001					
プレナーシップ・キャリア教育」「リベラル	1377027	1		科学方法論入門					→ 1_4 論理力
-ツ・データサイエンス教育」「数理基礎教				113797240107113					_
「英語・日本語教育」の五つの分野で科目	基礎演習I	]							<b> →  1_5 アカデミックスキル</b>
系的に開講する。	アントレプレナーシップ入門	1	イノベーション論I	イノベーション論II	ビジネス概論				
		基礎演習II				リベラルアーツ演習			
	1	<u> </u>	企業プロジェクトA	企業プロジェクトB	学生プロジェクトA	学生プロジェクトB			<b>→ 1_6 未来を切り拓くカ</b>
	1	!			インターンシップA	インターンシップB			
	<u> </u>		<u> </u>			就職セミナー			
	工学・情報系の基礎数理I	工学・情報系の基礎数理II	工学・情報系の数理I	工学・情報系の数理II					
	1	!		微分方程式					  →   <b>1_7 数理基礎力</b>
	基礎物理学	物理学		物理学実験					
	基礎化学I	基礎化学II	<u> </u>						
СР	14	年次	2年	次	3年	次	4年	次	学修目標
	建築製図I	建築製図II	建築製図III						
	建築設計I	建築設計II	建築設計III	建築設計IV	地域計画設計	建築意匠設計			   →   2_1 建築設計・計画の知識・理解
		地域・都市計画	建築計画I	建築計画II					
	デザイン実習I	デザイン実習II			デザイン実習III				
	1	!	建築史I	建築史II					→ 2_2 建築史・意匠の知識・理解
築学の専門知識に基づく思考力、実践力を体									
的に修得できるよう、計画から設計までのプ	1	!	建築環境工学I	建築環境工学II					
セスを理解した上で、各専門分野の立場から	1	!			建築設備I	建築設備II			→ 2_3 建築環境・設備の知識・理解
画、計画及び検証、設計を行い、それをプレ						建築設備設計			
ンテーションする横断的デザイン教育に必要	静定構造力学	材料力学	不静定構造力学		耐震工学				
科目を、年次とともに徐々に専門性を高める	1	建築構造学							
で開講する。また、一級建築士を取得するた			ļ	鉄筋コンクリート構造I	鉄筋コンクリート構造II				→ 2_4 建築構造の知識・理解
	1			鉄筋コンクリート構造I 鋼構造I	鋼構造II	<b>Z</b> ∌¢¢; <del>k</del> *\ <u>+</u> =0.=↓			→ 2_4 建築構造の知識・理解
こ必要な科目を開講する。				鋼構造I		建築構造設計			→ 2_4 建築構造の知識・理解
こ必要な科目を開講する。			コンクリート工学		鋼構造II 建築構造実験		神弦油层		<ul><li>→ 2_4 建築構造の知識・理解</li><li>→ 2_5 建築生産の知識・理解</li></ul>
こ必要な科目を開講する。			コンクリート工学	鋼構造I	鋼構造II	建築構造設計建築施工管理	建築測量		
<b>ご必要な科目を開講する。</b>			コンクリート工学 建築CAD実習I	鋼構造I	鋼構造II 建築構造実験		建築測量		
に必要な科目を開講する。	7855 7 88		建築CAD実習I	調構造I 建築材料 建築CAD実習II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論	建築施工管理	建築測量		→ 2_5 建築生産の知識・理解
こ必要な科目を開講する。	建築入門	]		鋼構造I 建築材料	銅構造II 建築構造実験 建築施工	建築施工管理	建築測量		→ 2_5 建築生産の知識・理解
			建築CAD実習I 建築実習I	鋼構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実習II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算			<ul> <li>→ 2_5 建築生産の知識・理解</li> <li>→ 2_6 情報処理の基礎的知識・理解</li> <li>→ 2_7 建築全般にかかわる知識・理解</li> </ul>
必要な科目を開講する。 CP		年次	建築CAD実習I	鋼構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実習II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論	建築施工管理 建築防災 建築積算	建築測量	次	→ 2_5 建築生産の知識・理解 → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解
СР			建築CAD実習I 建築実習I	鋼構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実習II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	<ul> <li>→ 2_5 建築生産の知識・理解</li> <li>→ 2_6 情報処理の基礎的知識・理解</li> <li>→ 2_7 建築全般にかかわる知識・理解</li> </ul>
CP に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・ 性を身につけることができるよう、倫理観や	14	年次	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実置II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標
CP  に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・ 性を身につけるごとができるよう、倫理観や 管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、	19 健康スポーツ教育I	年次	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実置II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標
CP 会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・会性を身につけることができるよう、倫理観や管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、	19 健康スポーツ教育I	年次  健康スポーツ教育II	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実置II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標  → 3_1 自己管理力
CP に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・ 対性を身につけることができるよう、倫理観や 1管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、 いらを実践的に修得する機会として、アクティブ -ニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通	19 健康スポーツ教育I	年次  健康スポーツ教育II	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実置II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標  → 3_1 自己管理力
CP に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・性を身につけることができるよう、倫理観や管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、 いろを実践的に修得する機会として、アクティブ・ニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通	19 健康スポーツ教育I	年次  健康スポーツ教育II	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料 建築CAD実習II 建築実置II	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理 建築防災 建築積算		次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標  → 3_1 自己管理カ  → 3_2 協働性
CP  会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・会性を身につけることができるよう、倫理観やと管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、いるを実践的に修得する機会として、アクティブーニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通	健康スポーツ教育」	年次  健康スポーツ教育II	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料  建築CAD実習II  建築実習II  次  (健康スポーツ実習)	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規	建築施工管理  建築防災 建築積算  次			→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  学修目標  → 3_1 自己管理カ  → 3_2 協働性
会に出て活躍する上で求められる豊かな人間性・ 会性を身につけることができるよう、倫理観や 日管理力、協働性等の重要性を講じるとともに、 れらを実践的に修得する機会として、アクティブ ーニングを積極的に取り入れた多様な科目を共通 育課程・専門教育課程の双方で開講する。	健康スポーツ教育」	年次  健康スポーツ教育II  ビジネスブランニング入門	建築CAD実習I 建築実習I 2年	調構造I 建築材料  建築CAD実習II  建築実習II  次  (健康スポーツ実習)	銅構造II 建築構造実験 建築施工 情報処理論 建築法規  3年	建築施工管理  建築防災 建築積算  次	<b>4</b> 年	次	→ 2_5 建築生産の知識・理解  → 2_6 情報処理の基礎的知識・理解  → 2_7 建築全般にかかわる知識・理解  ▽ 8_1 自己管理力  → 3_2 協働性  → 3_3 倫理観